

【会情報】

【会員企業ご訪問: vol. 112】

## 浪華合成株式会社 (大阪中央支部)

今回は、大阪市城東区にある浪華合成株の  
代表取締役 森谷 浩二 様を訪ねました。



森谷 浩二 社長

本社住所	大阪府大阪市城東区関目5丁目11番7号
電話	06-6939-0265
FAX	06-6939-0269
資本金	3,000万円
創業	昭和30年12月
射出成形機	圧縮成形機 11台 トランスファー成形機 7台 射出成形機 1台
従業員数	15名(男性11名、女性4名)

### 会社の概要・製品



本社外観

当社は設立から一貫して、熱硬化性樹脂を扱ってきました。熱硬化性樹脂に特化した加工、成形を行い、少量多品種の生産を行っています。

熱硬化性樹脂として、主にエポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、FRP樹脂、フェノール樹脂、メラミン樹脂などを取り扱っており、それらは耐熱性、耐薬品性、機械的強度特性、寸法精度に優れるという特性を持っています。このような特性から、熱硬化性樹脂の成形品はあらゆる産業分野において、機能部品として利用されています。



敷地内にある、朱塗りの鳥居と神社

当社では、モーターの封止、LNG船の断熱材を取り付ける部品、風力発電部品、造船、魚群探知機部品、建設機械部品、遮断機、計量器、碍子、医療機器、電車の車両部品など、多岐にわたる製品を成形してきました。現在一番の需要があるのは電力会社向けの部品ですが、機能部品の成形が多いため、部品交換などのタイミングにより、顧客の需要も異なってくることから、生産計画の柔軟性が必要とされています。

## 工場の様子

成形する製品の関係上、秘密保持の為に工場入口は常に施錠しています。工場では現在、30～50代の12名の従業員が働いています。営業と掛け持ちしている者もいます。また、ベトナムからの外国人研修生2人も含まれており、仕事の覚えも早く、真面目で手先も器用なため、日本人社員のいい刺激になっています。次期の外国人研修生も控えており、将来的には研修生に現場を任せるようにしたいと思っています。

熱硬化性樹脂の成形には技術力が問われます。同じ工程で成形したものであっても、完成品は人によって違うことがあります。平板を成形しても、「す(空隙)」が入っていたり、成形品で強度に違いがあったりといったことがありました。試作品の製作は、経験のある2名が主体となって担当しています。私自身もプレイヤーですのでアイデアを出したり、試作の成形を行うこともあります。



ポビンケース

## 自社の強み

熱硬化性樹脂に特化し、長年取り組んできたことによる技術力が強みです。写真のような、他社では対応できなかった複雑な形状のインサート成形も、当社では対応してきた実績があります。

その技術力をもとに、新しい分野に臆せず飛び込む、チャレンジングスピリットを持つこと、それが私の方針です。ダメもとでの挑戦ということは、顧客にも理解してもらっています。

試作の仕事をお受けすることで、技術を盗まれるというリスクを伴いますが、その試作で当社が得るものもあると考えています。依頼を望まれる形で達成できない場合でも、それを失敗と考えておらず、そこに挑んだことで何か得られるものがあります。

当社では熱硬化性樹脂の成形が主になりますが、熱可塑性樹脂であっても協力企業・工場との連携で対応しています。協力工場には今や貴重なハンドレイアップ成形や注型、切削加工ができるところがあり、そのようなネットワークも強みです。



電機部品



電機部品

## 今後の展望

多くの中小企業と同じように人材不足、販路開拓が大きな課題ですが、将来の展望として、「プラスチックのことなら浪華合成に言うたら、何とかしよるで」と言われるような会社になりたいと考えています。たとえ、依頼に対し自社では対応できなくとも、協力企業・工場によるネットワークで対応できる体制を構築していますが、そのネットワークを当社が中心となって、さらに強めていきたいです。

## 協会への要望

補助金の情報などは協会からの情報提供で知ることができました。今後も情報発信を積極的に行ってほしいと思っています。それに関連して、支部会でも懇親だけに終わるのではなく、講演会などを多くしてもらいたいと思っています。

### ※ 会社を拝見して ※

作業されている現場を見て、熱硬化性樹脂の成形は人の手による部分が多いことを実感しました。にも関わらず、技術力が強みであるという自信をお持ちなのは、本当の意味で従業員の方々に技術力が身につけているからだと思いました。そのような自信があっても、自社内だけで依頼に対応できる・できないを判断されるのではなく、他社との協力体制の中で対応しているという広い視野をお持ちになられている点も関心を覚えました。

また、協会への要望で触れられていたように、いろいろな情報に興味を持たれているので、今後も支部会担当として有益な情報提供ができるよう努めていきたいと思いました。

◎ありがとうございました  
取材：事務局 平田、河合

※本記事記載の情報については、平成27年3月2日現在のものとなります。

掲載希望の方は事務局(06-6214-8300)までご連絡ください。